

■平成27年度第2回六甲・摩耶山あちこち回遊推進委員会 会議録

【開催日時】平成28年2月29日（月）14:00～14:55

【開催場所】六甲山観光株式会社 本社会議室

【出席者】委員11名（欠席1名）

【主な意見交換の内容】

（議事1）六甲摩耶スカイシャトルバスふりーきっぷの結果について

- ・事務局より、資料-2（六甲摩耶スカイシャトルバスふりーきっぷ 実施結果）を説明。
- ・きっぷの利用者の施設利用状況を見る限り、ほぼ六甲山牧場しか利用されていない。
- ・回遊性を高めるのであれば、新たな施設の整備や既存施設のポテンシャルを高めることが重要である。その上で、交通のニーズがあれば交通環境を整備すればいい。
- ・六甲山牧場では今年からインバウンドの統計を取り始めており、平日はインバウンドの利用者が9割である。インバウンドの方はほとんどがバス利用であるが、最近はレンタカー利用が増えている。
- ・宿泊施設からすると1日だけでなく2日間のパスがあると販売しやすい。
- ・六甲摩耶スカイシャトルバスの阪急六甲から運行している便では、乗車されるお客さんの8割程度が六甲山牧場の往復利用である。山上部分でバスを利用される方は、ほとんどが六甲・まやレジャーきっぷの利用である。利用者数の推移は、便数が多くないということもあるが微増程度である。

（議事2）来年度の取り組みについて

- ・事務局より、資料-3（六甲・摩耶山での公共交通の利用促進）を説明。今回、初めて無料運行の社会実験を実施するにあたり、休日やお盆となると混雑が発生した場合の対処が難しいということもあり、この日程（8月22日（月）～26日（金））となった。市長としても身近な山に気軽に登ってほしいという思いもあり、各施設利用者が多い時期ではないかもしれないが、夏休み最後の思い出づくりという要素も含めて、日付を設定した。
- ・どのあたりの層を狙って施策を実施するのかがわかるといいのではないか。
- ・今回の取り組みに際して、多くの方に山に登ってもらうことや山の素晴らしさを見て欲しいということを前面に出すとともに、合わせて、山上の案内ボランティアの開設などを無料運行と一緒にアピールすると、取り組みに色付けがされていいのではないか。
- ・山上の施設に魅力があれば山のリピーターになってもらえる。それぞれの施設で何かを狙った取り組みができれば、いい社会実験にもなるし、今後の山上利用の促進にもつながるのではないか。

（以上）